

第2号

発行 全国商工会議所青年部連合会
東京都千代田区丸の内3-2-2
日本商工会議所中小企業振興部内
☎03-283-7847

編集 広報委員会

翔生

(しょうせい)

題字 日本商工会議所 会頭 五島 昇

全国の青年経済人

第六回全国大会

福島に集う!!



第六回商工会議所青年部全国大会は、刷新的経営を模索している青年経済人が、若さあふれる情熱と英知をもって福島に集い、相互の交流を通して資質の向上と、地域経済の構築について意見を交換するとともに、商工会議所の活力の源泉としての青年部の設立を促進し、明日への大なる飛躍をはかる目的で、福島県連主官により、十月十八日(日)福島県文化センター及び福島市体育館で開催された。

第六回商工会議所青年部全国大会は、刷新的経営を模索している青年経済人が、若さあふれる情熱と英知をもって福島に集い、相互の交流を通して資質の向上と、地域経済の構築について意見を交換するとともに、商工会議所の活力の源泉としての青年部の設立を促進し、明日への大なる飛躍をはかる目的で、福島県連主官により、十月十八日(日)福島県文化センター及び福島市体育館で開催された。

大会を終えて

大会会長 荻原幸昭

この福島大会は、明日の日本を大いに語り合う場として地元色を出し、真ごころの大会として、すべてつががなく終了することができました。これを、関係各位にこの紙面をお借りし感謝申し上げます。全国各地より、いとお越し頂き、有難うございました。一年半前に第六回の全国大会の命を受け、我々福島県連として参加して頂いた人が良かったという大会にするため、日夜議論し準備を進めていくうちに、多くの仲間が福島に集い、出会いを求めてやってくると思うと、精励奮闘、何がなんでもという気持ちで申し込みに湧いてきました。申し込みに、心配をよそに北は北海道、南は次期開催地・沖縄より参加の嬉しいメッセージ。最終的にはなんと千四百余名の参加登録、責任の重さもひしひしと感じました。果して、本年度の商工会議所のスローガンは、「商工会議所、若さがつくる新時代」であります。私達青年部が二十一年世紀に向けての商工会議所をつくらせていきますよう！真に求めるのは友であり、生まれ育ったふるさとでなかつたかと考えます。ある人は一日、ある人は三日間、秋の福島を、堪能していただき、思い出の多い旅を、それぞれのアルバムの一ページに書き添えていただけたことと思いたす。再び、南国のハイビスカス沖繩の地でお待ちしよう。

「商工会議所、若さがつくる新時代」を大会スローガンに、第五回東北・北海道ブロック商工会議所青年部運営研究会を、晴天の青空のもと、秋田県大館市で開催いたしましたところ、約二百二十名という多数のご参加をいただき無事盛大に終了できましたことは、日本商工会議所をはじめ関係各位の皆様方へ、深いご理解と強い感謝いたしますとともに、厚くお礼申し上げます。

このような時期に青年経済人が一堂に会し、相互交流と連帯の輪を広げながら自己研鑽を積み重ねていくことは、第六回北陸・信越ブロック商工会議所青年部運営研究会を本州の中央部能登半島、観光の基地・輪島市において開催させていただきました。百九十余名の多数のご参加をいただきましてありがとうございます。

東北・北海道 分科会を中心に開催

大館商工会議所青年部会(部会長 伊藤 健)

この大会を主催する青年部に、若さがつくる新時代のもと、第六回北陸・信越ブロック商工会議所青年部運営研究会を本州の中央部能登半島、観光の基地・輪島市において開催させていただきました。百九十余名の多数のご参加をいただきましてありがとうございます。

また、開催にあたり、各方面のご指導ご協力を賜り申し上げます。厚く感謝申し上げます。

また、開催にあたり、各方面のご指導ご協力を賜り申し上げます。厚く感謝申し上げます。

北陸・信越 能登半島輪島市へ集う

輪島商工会議所青年部(代表幹事 谷川晴久)

また、開催にあたり、各方面のご指導ご協力を賜り申し上げます。厚く感謝申し上げます。

また、開催にあたり、各方面のご指導ご協力を賜り申し上げます。厚く感謝申し上げます。

最後に、本大会開催地として、青年部が唯一の部会でしたが、今般七尾商工会議所に青年部の設立を促し、九月二十六日、七尾商工会議所青年部会が設立いたしました。

第六回関東ブロック商工
議所青年部運営研究会は、九
月十九日、上尾市福祉会館に
五十五商工議所から、六百
十九名の青年部会員を集め、
盛大に開かれました。

今回の運営研究会は、
当初の準備段階から各地
の要望をとり入れ、主管
青年部は勿論、埼玉県内
の大宮、川口、本庄の共
同企画のような形で作り
上げました。四つの分科
会は、いずれも青年部会
員や青年部OB会員が、
コーディネーターやアド
バイザーをつとめるとい
った、いわば手作り分科
会。これに各地青年部の
テーマに基づいた事例発
表を折り込んだ形で進め
られ、参加会員の好評を得ま
した。

関東 手作り分科会で大成功

上尾商工議所青年部(会長 田中 守)

「新時代に対応した自立
型企業を目ざして」と題
して、川口、沼津の発表
につき、上尾青年部OB
B岡戸広吉氏(上尾金属
工業協同組合専務理事)
が講演。一段と厳しさを
増した中小工場の経営環
境と、今後の指針をアド
バイズしました。

第三分科会「建設業」
は、「民活時代」に果たす建
設業」のテーマで、事例
発表と埼玉県企画財政部
長、次期開催地に決定した栃
木県足利市での再会を約して
散会しました。

第二分科会
「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

第一分科会
「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「地域経済の活性化を目指
して」のテーマで、北川泉島
大教授、吉岡豊樹斐川町長を
講師に招き、米子青年部の事
例をふまえて話し合われた。そ
の席上、地方都市は都市イメ
ージにあった企業誘致を考え、
もう一方で今までもある企業を
育て、再生し、地場素材を
利用した産業を興し、活
性化に結びつける必要が
あるとの集約意見を得た。

「第二分科会
「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。



去る九月二十一日(日)松江市総合文化センターラバホールにて、中国地区二十六商工会議所青年部の会員三百三十四人が一堂に会し、運営研究会が盛大に開催された。

以下は研究会の概要です。
●第一部 記念講演
日本マクドナルド(株)社長藤田田(デン)氏を招き、「マクドナルド成功の秘密」(外食産業日本一)と題した講演は、参加青年部会員に好評を博した。なかでも、その秘訣を欧米化経営と時間節約の二点と強調し、特に情報分析に企業努力を傾注し、顧客層を限定し、宣伝する経営を続けていく限り、マクドナルドの年間売り上げ五千億はたやすく、外食

「商工議所、若さがつくる
新時代」をスローガンに、第
四回東海・近畿ブロック商工
議所青年部運営研究会が、
去る八月二十六日(愛知県春日
井市)で、四百余名の青年部
員の参加を得、盛大に開催さ
れました。

本大会を主管するにあたり、
青年が地域に果たす役割を考
えていくとともに、後継者育成
問題について、参加者に率直
な意見を述べていただくこと
と、大会の準備を進めてま
りました。

第三回四国ブロック運営研
究会は、八月二十三日に高知
で開催されました。
会場である高知市の城西館
には、過去最多の百七十名の
青年が参加しました。

第二分科会では、「いま街は
……」のテーマで、いま街は
プラザデザインコンサルタン
タ(高知青年部)のもと、中
村・西條・池田・丸亀よりパ
ネラーが出て、活発な意見交
換がありました。

第四分科会「わがまちの
新時代と青年部の役割」につ
いて、パネリストの三浦功氏
の記念講演があり、氏の
卓越した見識と豊富な経験

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

東海・近畿 有意義なディスカッションを展開

春日井商工議所青年部(部長 岡島匡宏)

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。



中国 記念講演が大好評

松江商工議所青年部(代表理事 田中征二郎)

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。



「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、杉元邦太郎島根大教授、杉元邦太郎商青連組織強化委員長を講師に招き、光・鳥取・安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。

「わがまちの新時代と
青年部の役割」の統一テ
ーマのもと、杉元邦太郎
島根大教授、杉元邦太郎
商青連組織強化委員長を
講師に招き、光・鳥取・
安来の青年部会員からの
事例発表の後、主体性の
ある活動が行なわれた。



「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、杉元邦太郎島根大教授、杉元邦太郎商青連組織強化委員長を講師に招き、光・鳥取・安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動が行なわれた。

「北端の地で行動の輪を」

〔北海道ブロック〕美幌商工会議所青年部部長 前田典太郎

商青連加入青年部の北端の地、美幌を紹介させていただきま。美幌は北海道の北東部オホーツク海から二十七八キロの陸にあり、人口二万七千人、面積四百三十五平方キロの、農業と商業の緑豊かな、田園都市です。交通も至便で女満別空港へは、車で十分、札幌まで飛行機で五十分、東京へも直行便でわずか一時間四十分という所にあります。

開拓の鉞が入られてから、九十九年の歴史を持つ街で、先住民族であるアイヌ語のピポロが、美幌の語源で、水清く大いなるところという意味だそう。また、阿寒国立公園の表玄関でもあり、北海道が誇る景勝地・美幌峠は、年間動員数、百二十数万人を数え、北海道新開調査の、北海道百選では、室蘭の地球岬に

「津ベストシズンは尾車親方に」

〔東海ブロック〕津商工会議所青年部会長 竹林武一

津市は三重県の県庁所在地としての行政都市とは言え、人口は僅か十五万人の市であり、「伊勢は津でも」、津は伊勢でも「……」との古くからの言葉も隔世の感を否めません。

こうした現状の中、我々、津商工会議所青年部では、活動の一環として初年度（昭和六十一年）の忘年会に、会員の持ち寄り品のオークションを行いました。このオークションで集まった資金をもとに、津ベストシズン賞を創設しようという企画が持ち上がったのです。

全国二百五十七の青年部の皆様にもアンケートのご協力を得て、津の認識度調査を実施。その結果、約三分の二が津が三重県にあること自体ご存知ないなど、残念ながら全

地域経済の主役 躍動する青年部

— ARE・KORE —

ことあります。しかしながらどんなに高邁な理想を掲げて、この会に、意識をもって出席させること、この会を意義ある物にすることが先決であり、親睦を深めること、初年度の大西部長を中心に取り組んでまいりました。

現在、当会の活動は、親商工会議所事業の協力、経営セミナー、労務セミナーなどの開催施設研修、他青年部との交流会も行なっています。新しい事業としては、地元青年が主催する「冬まつり」に初参加、九月には、地元会議所加入商社を対象に、第一回の「職場対抗ボウリング大会」を開催するなど、おくれればせながら、行動の輪を広げています。我々は今何をしなければならぬか、全国の同志に学びながら研鑽を続け、地域にあった活動を展開していきたいと思っております。

こうして、一昨年の忘年会において企画が発表されて以来一週間、事業委員会（川喜田久委員長）を中心に、度重なる打合せを経て、精緻なシナリオも作成され、準備万端整い、去る十一月八日、第一回津ベストシズンの授与式と祝賀パーティーが挙行された企画から準備、当日の運営まで、すべてが会員の創造力と行動力の結晶による手作り事業であったことは、今後の当青年部の発展にとって、大きな意義があったと自負しています。



第一回津ベストシズン授与式で尾車親方を表彰

青森商工会議所青年部 「新しい青森市を創造」

青森市は青森県における政治、経済、教育、文化等の中心都市として、更に北東北における流通拠点都市として発展を遂げつつあり、高速交通体系の整備（東北自動車道の全線開通など）と相まって、今後とも、その果すべき役割は重要になってくるものと思われま。

当青年部は、こうした状況の中で、二十一世紀の青森を担う若い企業人の団結と連携により、新しい青森市を創造

花巻商工会議所青年部 「青少年バスツアーを実施」

花巻市は岩手県の中央に位置する温泉郷として、全国にその名を高めております。また、詩人宮沢賢治生誕の地であるとともに文化的遺跡の多いところとす。

花巻商工会議所青年部は、五十九年十一月に約二十名の発起人、発足、会議所活動に若者も参加し、研修、行動にいかぬければ色々な点で遅れを来すという感覚から設立されました。

会員も現在では約二百名を数え、委員会活動も総務、会計、事業、研修の四委員会を

足利商工会議所青年部 「歴史の街を舞台にして」

わが町足利は、栃木県の西南端に位置し、人口十六万八千余の産業都市です。市の中心には渡良瀬の清流が流れ、織物の町・文化の町として歴史が古く、日本最古の「足利学校」、足利尊氏ゆかりの屋敷跡「はん阿寺」など、幾多の重要な文化財が残された美しい街です。

足利商工会議所青年部も昭和五十六年十月設立以来、会議所活動の一助を担いつつ、青年部としての活動を続けて

大宮商工会議所青年部 「二つの目的で邁進」

この度、商青連の仲間に加わりました大宮商工会議所青年部です。

当青年部は、県内五番目の青年部として、昨年四月十七日に四十五名をもって設立し、(一)青年経済人としての自己啓発と自己修練をはかって、豊かな地域経済社会を築く、(二)会員間の連帯感をより一層たかめるためのコミュニケーションをはかる、(三)商工会議所及び、地域の事業に積極的に

相模原商工会議所青年部 「街づくりに取り組む」

当青年部は次代を担う若手商工業者を育成し、会議所組織の若返りを図るため、昭和四十三年九月、会員二十四名

現在は、時代認識を高めて代経営の知識を養うため、専門家を講師に招き、各種研修会を開催すると共に、市内各地に点在する部員は情報交換を密に行い、先進地を視察して、現在各地で進められている街づくりに取り組んでいます。

また、毎年、福祉事業を企画し、浄財を神奈川県立青少年院などに贈っていることも当青年部の特徴のひとつです。

一方、古いメンバーの多くは、すでに商工会議所や地域商店街組織の中核で中小企業に努力をしておられます。

伊予商工会議所青年部 「商店街開町三百五十年記念行事に協力」

当市は愛媛県の中央部にあり、南北は四国山脈の緑の山々、西北は波静かな瀬戸内海に面した人口約三万人の街です。

近年、大型店の進出や、隣接する県都・松山市への購買力の流出により、商業が衰退傾向にあり、地域の活性化が重要課題とされているところから、こうした経済環境のなか、期待大きく伊予商工会議所青年部が、昭和五十六年六月部員六十名で設立されました。

参加するとともに、地域の問題の研究・提言を行うことを目的としており、総務・事業推進・街づくり・経営戦略の四委員会を設けて活動いたしております。

玉子「玉子」の完成を期す。新しい「玉子」の完成を期す。新しい「玉子」の完成を期す。

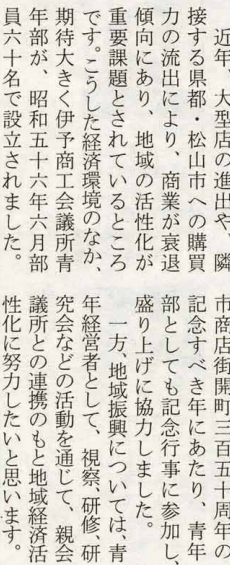
ようこそ商青連へ 新入会員紹介

今後の花巻の在り方を考えるために、花巻市の協力も得て「花巻市の現状と未来を勉強する青少年バスツアー」を実施して大好評でした。

来しました。特に会議所会員大会、足利まつり、渡良瀬ウォークなどの主管をはじめ、高等教育機関の設置に関する調査並びに提言など、地域の振興と活性を目指し、今後とも行動する青年部として、推進して行きたいと考えます。

先輩諸兄のご指導を切にお願い申し上げます。

入会のご挨拶いたします。



商青連加入をめぐりて

奄美大島商工会議所青年部 部長 東 幹人

奄美大島商工会議所青年部 発足のきっかけは、当初各通商部の親戚を目的として、若手経営者で組織された「通り会」青年部であった。しかし、それではあまりにも組織が小さく、これからは、名瀬市の商工業発展のため、青年の勇気と行動力、そして、その若い活力を社会一般の福祉の増進に資する必要があるとして、昭和六十一年六月にスタートしました。これまでの事業活動としては、不景気風を吹き飛ばし、活気を取り戻そうと、歩行者天国にし、ジャンケン大会や綱引き大会を開催、買い物途中の親子連や若者が出、ひさ勝ち抜き戦を繰り広げ、ひさひさに商店街に活気があふれた。今後も、さまざまなイベントを計画し、商店街の活性化を図ろうと意欲をみせている。

七尾商工会議所青年部会 会長 尾形 弘之

七尾商工会議所青年部会は、地域の活性化は自らの手で作り上げようという声が高まり、昨年九月二十六日、八十二名のメンバーで発足した。七尾市は日本列島の中央に突出した半島にあって、かつては港町として栄えた。しかし、交通手段や産業構造が転換しつつある今日、海は物流としての役割と共に、マリレジャーや多目的な活用が大きなウエイトをもちつつある。電源立地を生かしての産業振興にも取組み、また和倉温泉には年間百万人を超える観光客があるので、ナショナルリゾートの形成をめざさず、自然環境を生かした地域社会づくりに長期ビジョンを持ちながら、行動に若者の力を合わせ、やれることから着手して行くという意気込である。

六十二年度商青連役員の内顔

昭和六十二年度の商青連役員は次のおおです。皆様のご協力ご支援をお願いします。

①ブロック名 ②所属青年部 ③会社名・役職 ④業態 ⑤抱負

【代表幹事】

古川 伸二

①近畿ブロック ②福井青年部会 ③福井黒川商事㈱ 代表取締役 ④合繊織物卸 ⑤北海道初の商青連の歴史に水をささないよう頑張りたい

【副代表幹事】

奥田 利明

①北海道ブロック ②浦河青年部 ③奥田商事㈱ 常務取締役 ④酒・食品・雑貨卸 ⑤北海道初の運営研究会を成功させたい

萩原 幸昭

①東北ブロック ②原町青年部 ③萩原屋根建材㈱ 代表取締役 ④建築関連資材卸・施工 ⑤長年の役員経験を生かし活力ある商青連を目指す

長谷部 誠

①北信越ブロック ②亀田青年部 ③長谷部呉服店 店主 ④呉服・和装品小売 ⑤新潟県連を早く作りた

神田 博一

①関東ブロック ②上尾青年部 ③上尾グリーンガーデン ④賞植木造園業 ⑤青年部の活力を親会議所の活性化へ

竹林 武一

①東海ブロック ②津青年部 ③三重トヨタ自動車㈱ 代表取締役 ④自動車販売修理業 ⑤代表幹事を補佐し精一杯努力したい

岡本 敏孝

①近畿ブロック ②奈良青年部 ③岡本金属工業㈱ 専務取締役 ④子供蚊帳骨製造 ⑤商青連発展のため皆様のお役に立ちたい

時苗 聖一

①中国ブロック ②光青年部 ③南光白蓮社 代表取締役 ④葬儀業 ⑤商青連の目標に向かって努力をしたい

馬宮 功

①四国ブロック ②阿波池田青年部 ③三芳菊酒造㈱ 常務取締役 ④清酒製造・販売 ⑤商青連の発展のため努力したい

池増 徹

①九州ブロック ②指宿青年部 ③九重建設㈱ 代表取締役 ④総合建設業 ⑤62年度全国大会を九州ブロック全体で盛上げた

【幹事】

横尾 逸郎

①北海道ブロック ②登別青年部 ③花善生花店 店主 ④生花小売 ⑤東北・北海道ブロック運営研究会の開催に努力したい

千葉 幸七

①東北ブロック ②一関青年部 ③㈱一関ショッピングデパート千葉久 店長 ④百貨店 ⑤地元における青年部の存在を明確にした

菅原 周二

①東北ブロック ②塩松青年部 ③㈱菅原葬儀社 常務取締役 ④葬儀業 ⑤地元の活性化に少しでも役に立てるように努力したい

伊藤 健

①東北ブロック ②大館青年部会 ③㈱伊藤組 総務部長 ④総合建設業 ⑤青年としての行動

松永 彰

①北信越ブロック ②高岡青年部会 ③松美堂松永銅器店 代表 ④美術工芸品卸 ⑤青年部活動の輪をより密にし目的達成に尽力したい

南 勝

①北信越ブロック ②中野商工青年会議 ③三芳菊酒造㈱ 常務取締役 ④スポーツ用品小売 ⑤職務に精一杯の努力を傾けたい

西田 晴夫

①関東ブロック ②足利青年部 ③東洋工芸㈱ 代表取締役 ④繊維製品製造卸 ⑤62年度関東ブロック大会をぜひとも成功させたい

古賀 友二

①関東ブロック ②伊勢崎青年部 ③古賀製作所㈱ 専務取締役 ④自動車部品製造 ⑤青年部の仲間との交流を通じ、自己の事業に反映させて行きたい

木内 修二

①関東ブロック ②市川青年部 ③㈱さのち 代表取締役 ④婦人服小売 ⑤変革の時代への積極的対応

山本陽一郎

①関東ブロック ②浜松青年部 ③中島物流センター㈱ 代表取締役 ④倉庫及び配送センター ⑤浜松で将来全国大会をひらきたい

水野健一郎

①東海ブロック ②関青年部会 ③中島観光㈱ 専務取締役 ④旅行業 ⑤商青連運営に尽力したい

川村 陽一

①東海ブロック ②春日井青年部 ③春日工業㈱ 総務部長 ④砕石製造・販売 ⑤青年部活動を通して地域の活性化をはかりたい

瀬出井 剛

①近畿ブロック ②武生青年部会 ③クツのセディ 店主 ④靴・かばん店 ⑤県内の商青連未加入青年部の加入促進

村田 清司

①近畿ブロック ②北大阪青年部 ③朝日新聞村田新聞舗 代表取締役 ④新聞販売 ⑤青年部の活力を地元の発展に活かしたい

志方 正昭

①近畿ブロック ②高砂青年部会 ③伊保興業㈱ 代表取締役 ④鉄工業 ⑤活力ある街づくりの為に努力したい

遠藤 栄

①中国ブロック ②平田青年部 ③遠藤燃料工業 代表 ④燃料製造・卸・小売 ⑤会員が協調連携し事業が発展することを念願する

津本 憲一

①中国ブロック ②津山青年部 ③㈱ちくさや 専務取締役 ④紳士服店 ⑤青年部のポジションを探究し行動したい

水尾 一二

①四国ブロック ②坂出青年部 ③水尾メリヤス 代表 ④衣料卸・小売 ⑤坂出の街がますます活性化されるよう頑張りたい

伊藤 剛吉

①四国ブロック ②西條青年部 ③㈱大屋 代表取締役副社長 ④百貨店 ⑤商青連の発展に全力で取り組みたい

野田 佳男

①四国ブロック ②須崎青年部 ③南共栄社 代表取締役 ④飲食業 ⑤地域に根ざした青年部づくりをめざす

滝本 竜也

①九州ブロック ②鹿島青年部 ③割烹滝本 代表 ④割烹 ⑤商青連の組織拡大・強化のため努力したい

高瀬 嘉博

①九州ブロック ②大村青年部 ③高瀬建設㈱専務取締役 ④総合建設業 ⑤62年度全国大会を機に九州ブロックの結束を固めたい

原田 和明

①九州ブロック ②日向青年部 ③南原石油店 代表取締役 ④石油類販売 ⑤第7回九州ブロック青年部運営研究会を成功させたい

石川 正一

①九州ブロック ②那覇青年部 ③大育ビジネス専門学校 専務取締役 ④専修学校 ⑤昭和62年度全国大会を成功させるため頑張りたい

【監事】

中島 宣夫

①関東ブロック ②鎌倉青年部 ③南からや 専務取締役 ④玩具小売 ⑤後継者の育成に努めたい

高橋 敬一

①中国ブロック ②米子青年部 ③南高橋会計事務所 取締役(公認会計士) ④公認会計士事務所 ⑤参加し行動する青年部活動を行いたい

編・集・後・記

今年度も、全国大会、ブロック別運営研究会が、それぞれ盛大に開催され、各地で青年部の友情の輪が広がりました。この輪のなかで、機関紙「翔生」も、育てて行きたいと思えます。また、第二号発行に際し、ご多忙のところご投稿いただきまして厚くお礼申し上げます。尚、六月四日(木)から六月十五日(日)に実施いたします「アメリカ・カナダ研修視察団」には、多数のご参加をお待ち申し上げます。